

秋季企画展

一村寺領 高麗寺村

いっ せん じ りよう こう らい じ むら



平成 25 年 10 月 12 日 土
～ 11 月 30 日 土

開館時間: 9:00 ~ 17:00 (入館 16:30 まで)

休館日: 10 月 15 日 火・21 日 月・28 日 月
 11 月 1 日 金・5 日 火・11 日 月
 18 日 月・25 日 月



大磯町郷土資料館

背景/寺領高麗寺村田畑絵図面部分 (当館所蔵)
イラスト/高麗寺 41 世住職慧敬 (イメージ・当館制作)

秋季企画展「一村寺領 高麗寺村」

内容

かつて大磯には高麗寺という大きなお寺がありました。高麗寺は江戸幕府から100石の領地を与えられ、この領地は高麗寺村という一つの村をつくっていました。

高麗寺？高麗寺村？

高麗寺は奈良時代の頃に高麗権現社の別当寺として創建されたと伝えられます。江戸時代には、時宗総本山の清浄光寺（遊行寺）などに匹敵する100石の寺領を許され、一つの村を治めていました。江戸時代の高麗寺と高麗寺村はどのような様子だったのでしょうか？



▲高麗寺伝来の文書箱
(平塚市博物館所蔵)

高麗寺住職慧歎の改革

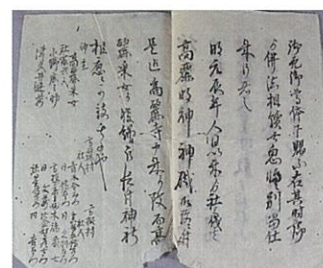


▲慧歎の事績を記した古文書
(当館所蔵)

江戸時代の中頃（18世紀後半）に高麗寺の住職を務めた慧歎は、寺領の整理や本堂の再建を行い、高麗寺と高麗寺村を一新させました。慧歎はどのように改革を進めたのでしょうか？
詳しいお話は講演会でもお楽しみください。

高麗寺から高来神社へ

神仏習合の考えを基に創建された高麗寺は、明治政府の神仏分離政策とは相容れない関係にありました。高麗寺は廃寺となり、高麗権現社が高麗明神→高麗神社→高来神社と改称して、現在の高来神社となります。高麗寺のその後を紹介します。



▲高麗寺から高麗明神と改めたことを伝える文書（当館所蔵）

講演会

「高麗寺領を改革する！ —高麗寺41世慧歎の挑戦—」

■日時：平成25年11月24日（日）
14時～16時頃

■場所：郷土資料館 研修室

■講師：馬場弘臣氏
(東海大学教育研究所教授)

■定員：60名（申し込み不要）

※定員を超えた場合は立ち見となりますので、ご了承ください。

展示解説

■日時：①10月27日（日）
②11月4日（月・祝）
14時から30分程度

■場所：郷土資料館 企画展示室

①10月27日の回では、高麗寺村の様子を中心に、②11月4日の回では、慧歎の改革を中心にお話します。



※本展では、高麗寺の住職慧歎さんにイラストで登場していただいています！でも、慧歎さんがどのような姿をされていたのか、よくわかっていません。あくまでイメージです。

大磯町郷土資料館 Oiso Municipal Museum

〒255-0005
神奈川県中郡大磯町西小磯446-1
TEL：0463-61-4700
URL：http://www.town.oiso.kanagawa.jp/bunka_sports/bunka/kyodosiryokan/index.html



■電車 ■JR東海道線大磯駅 徒歩約30分 ■バス ■大磯駅～城山公園前 徒歩約5分
■車 ■小田原厚木道路 大磯インター約5分／西湘バイパス 大磯西インター約2分